

(書式 3 - 2 - 2)

寄与分を定める調停申立書

家事調停申立書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所 御中

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

申立人 〇 〇 〇 〇 印

寄与分を定める調停申立事件

- | | |
|------------|--------|
| 1 当事者の表示 | 別紙のとおり |
| 2 申立の趣旨・実情 | 別紙のとおり |

貼用印紙額 金〇〇円

予納郵便切手 金〇〇円

当事者の表示

本籍 ○○市○○町○○丁目○○番地

住所 〒○○○-○○○○
○○市○○町○○丁目○○番○○号

申立人 ○○○○

生年月日 昭和○○年○○月○○日生

本籍 ○○市○○町○○丁目○○番地

住所 〒○○○-○○○○
○○市○○町○○丁目○○番○○号

相手方 ○○○○

生年月日 昭和○○年○○月○○日生

本籍 ○○市○○町○○丁目○○番地

住所 〒○○○-○○○○
○○市○○町○○丁目○○番○○号

相手方 ○○○○

生年月日 昭和○○年○○月○○日生

(被相続人の表示)

本 籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

最後の住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

被相続人 〇〇〇〇

死亡年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日

申立の趣旨

申立人の寄与分を定める調停を求めます。

申立の実情

- 1 被相続人は、平成〇〇年〇〇月〇〇日に死亡し、その相続人は、相手方〇〇〇（妻）、申立人〇〇〇〇（長男）および相手方〇〇〇〇（二男）の3名です。
- 2 申立人は、昭和〇〇年〇〇月に〇〇高等学校を卒業と同時に、被相続人の営む酒類販売の業務を手伝う様になりました。被相続人は平成〇〇年〇〇月頃から、高齢に伴う病気などがあって、ほとんど業務に従事できなくなりました。

したので、申立人が仕入れ、営業そして販売などすべての業務を行なってきました。

3 申立人は、この間、被相続人から定期的な給与の支給を受けることもなく、小遣い銭をもらう程度で業務に従事してきたものです。

4 従って、被相続人の遺産の分割にあたっては、遺産の増加や維持に対して申立の寄与分を定めてもらうことを求めてきましたが、相手方らは、これに対して理解をしてくれません。

5 この度、被相続人の遺産につき、遺産分割申立事件が貴庁に系属しましたので、申立人の寄与分を定めることを求めて本調停の申立に及ぶ次第です。



添 付 書 類

除・戸籍謄本

○通

以上

解説

遺産分割に当たり、共同相続人のうち被相続人の財産の維持又は増加について特別に寄与した者には、法定相続分の他に寄与分として多くの遺産を取得することが認められている（民法904条の2）。寄与分について相続人の協議が調わないときは、家庭裁判所に対し、調停を求めることができる。



* 遺産分割の詳細は、<https://ac-souzoku.jp/inheritance/partition-estate/> をご覧下さい。弁護士法人朝日中央綜合法律事務所